



三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 力

例会日
1991. 7. 30
累計 No 230
当年 No 5

会長／山上 茂 夫

幹事／堀 川 正 幸

SAA／河 井 増 雄

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行 事： 橋本ガバナー公式訪問準備会 山岸鐵夫新潟第四分区代理

出 席： 本日の出席 52名中47名

先週の出席率 52名中49名 94.23%

先週のメークアップ： 7月23日 新潟RCへ 平松利朗君

24日 三条RCへ 加藤 実君

25日 燕RCへ 小林 満君 坂内康男君

29日 三条南RCへ 吉川吉彦君 山口龍二君

ゲ ス ト： 新潟第四分区代理 山岸鐵夫君（吉田RC）

ビ ジ タ ー： 三条RCより 加藤征男君 五十嵐昭一君 五十嵐晋三君 高橋一夫君

岩井数央君 大谷幸平君

会長挨拶： 山上茂夫

つゆがなかなかあけないようですが、子供達はすでに夏休みに入り、行楽地に活発に動いています。本当にゆとりが必要と思います。新役員のもとで例会を司ってからもう1ヶ月がすぎました。ふなれなもので、これから勉強しなければと思っております。

ゆとりと申しますと、ことわざに花鳥風月ということばがありますが、最近の若い方は、花形産業であり、長期に休みがあり、社風も良く、月給が高いという風に言っているとある調査で報告されていました。しかし現実にはなかなかきびしく、残業をしてもいいので生活にゆとりがほしいという風にかわってきているそうです。電気労連のしらべによりますと、家族と一緒に過ごす時間が少なくなっているとの事です。現実と理想にギャップが生じているわけです。会社は休日を与えるだけではうまくないとも言われています。休日の時間の使い方のトップは、テレビ、ラジオ、ごろ寝ということです。その他は、外食が多いとの事。最近では、男女同権で、女性パワーが強くなってきていますが、女性だけの旅行も多くなっているそうです。家族を中心にゆとりをもって、自然としたいものです。

とにかく、忙しい忙しいといいながら生活をしておりますが、今日は、山岸分区代理を迎えまして、ガバナーを迎えるにあたってのご指導をいただきたいと思っております。

藤田説量バストガバナーは、いつも格調の高い講話の中で、話すことばに力があり、言葉の魔術師みたいな方です。あの方が講話の中で話されると本当のようにきこえてくるから不思議です。よく話されたことばに、「学び合い」「発想の交換」というのがあります。この二点にロータリーの実利的なものを求めてゆこうということでした。また、原直前ガバナーは、ロータリーをひとこと言うならばそれは「男を磨く会」だということでした。また、橋本ガバナーは、職業奉仕について「良心にもとづいて職業活動をすることが、職業奉仕だ」と言っておられました。社会奉仕と違うところは、正当な利益を得てというのが違うところ。また、最初のころ会長幹事研修会で新井ロータリクラブの会長さんが「このような奉仕の機会を与えていただきましたこと、まことに有難く感謝しております」としめくって話されました。私は、少しきざなことのように思ったのですが、実はきざなのではなく、それが本当で、自分のほうがみじめであり、人生観がいびつであると思えるようになってきました。

もう、24年の前のことになりますが、私が開業した年、友松円諦先生という方を講演におよびしました。この方は、文庫本で法句経講話というのを出されている先生です。その時、お願いして色紙を書いていただきました。「今日一日のこと」そして、どうだいわかるかいと言われましたので「なんとか分ります。」と言いましたら、「これはね、生涯かけてあじわうことばなんだよ。ゆっくりあじわってみれ。」と言われました。今になってやっと気がつきました。この奉仕だとか感謝ということは生涯、かかわりあって味わいながら深めてゆけばいいのではないかと考えたわけでございます。

7月のお祝い：

会員誕生祝い	夫人誕生祝い
村山 誠一君（4日）	赤塚まき子様（4日）
木 宮 隆君（8日）	加藤 照代様（18日）
外山 晴一君（13日）	
江 口 悟君（23日）	
馬場直次郎君（28日）	

臨時理事会

議 事	① 現況報告書についての件
	② 出席についての件
	③ ガバナー公式訪問についての件
	④ 「夏まつり百人委員会委員」委嘱の件 委員に山上会長
	⑤ 「県共同募金会委員」委嘱の件 委員に山上会長
	⑥ 三条新聞紙上夏まつり広告の件 承認
	⑦ ひめさゆり湖底イベント協力の件 承認

報 告 事 項 1、東北電力明かるい町作り推進協議会に例年通り2万円寄附いたしました。

8月6日例会： カバナー公式訪問

8月13日例会： ロータリーを知ろう第2回 私とロータリー 平松前会長

地区役員委嘱状伝達式：

1991～92年度 新潟東部 I M の青少年奉仕部会サブリーダーに梨本清一君をご委嘱申し上げます。

幹事報告：堀川幹事

◇三条夏まつり実行委員長より「三条夏まつり百人委員会」委員の委嘱についてのお願いがありました。

◇三条クリーン協力議会よりゴミ持ち帰り運動実施についての要請

日 時 8月6日（火）雨天は8月7日（水）

実施場所 六ノ町公園、由利公園、競馬場道路など

◇ふるさと運動推進協議会より会費納入のお願いと定時総会資料の送付がありました。

◇県共同募金会三条支会より「支会委員」委嘱についての依頼がありました

◇第2560地区長野県岡谷 R C より地区年次大会のご案内が届いております

日 時 10月26日（土）・27日（日）

会 場 長野県岡谷市文化会館

委員会報告：

出席委員会 内藤委員長

8月6日（火）ガバナー公式訪問日は100％出席例会になっておりますのでご協力下さい。

国際奉仕委員会 加藤（実）委員長

国際交流（海外旅行）アンケート用紙を配布いたしました。アンケート結果に基づいて実施したいと思います。

ニコニコボックス：

梨本建夫君 先日食品衛生協会のボウリング大会で妻が優勝してしまった、／ちなみに私は35位、／当分頭があがりません…。／

堀川正幸君 分区代理ようこそ、／本日は卓話ありがとうございます。

山本充君 本間さんの美声によるニコニコボックスの発表を楽しみに

加藤英男君 ボックスに協力して、／

長谷川博一君 娘達为新体操の県大会団体（一中三年生）で優勝しました。次は新潟県代表で北信越大会との事。記念してボックスへ。

本間建雄美君 山岸分区代理、御指導宜しくお願い致します

高橋彰雄君 山岸分区代理御苦労様です、よろしくお願い申し上げます。

今井克義君 山岸分区代理御指導ありがとうございます。

山上茂夫君 山岸分区代理の訪問御指導に感謝します

内藤修君 盛夏につき

小林満君 ボックスに協力して

平松利朗君 山岸分区代理さん一年間ご苦労様です。よろしくご指導願います。また、斉藤さんのカムバックを祝して

阿部誠一郎君 目の前にボックス有り、なにも良い事ないけど協力して

梨本清一君 山岸分区代理様ご来訪ありがとうございます、ご指導よろしくお願いします

佐藤啓策君 山岸分区代理、本日は御指導宜しく御願います。大変御苦労様です。

斉藤正君 遅くればせながら山上会長、堀川幹事、河井 S A A ご指導よろしくお願いします

佐藤文夫君 入会して一ヶ月たちました。今後とも宜しく御願います

淵岡茂君 新潟明訓優勝、昨夜は O B で一杯、話はすでに甲子園にて一勝し、その後の心配ばかりです、どうか応援して下さい。

丸山誠一君 7月27日、長岡市立劇場で中越地区吹奏楽大会がありました。中学 A の部に12校参加。そのうち三条から5校出場し、県大会に4校がすすみました。各先生方、生徒、ミュージックキャンプのおかげと感謝しておられました。

中条耕二君 1、斉藤正さんの例会出席を心から歓迎します。2、山岸分区代理をご歓迎申し上げます、よろしくご指導の程。3、フィリピンから高橋彰雄副会長共々元気で帰国しました。ピナツボ火山は大丈夫でした。

卓話： ガバナー公式訪問に関する指導 2560地区分区代理 山岸鐵夫様

私のところに三条 R クラブ、三条南 R クラブ、三条北 R クラブの現況報告書がそろいましたので、見せてもらいましたが、すごいメンバーの方が集まっていらっしゃると思われました。ロータリーとは何かと話をさせていただこうかと思ったり、何を話しようかといろいろ考えましたが、ロータリーとガバナーを中心に話をさせていただきます。まず、橋本力ガバナーについて。73才です。大泉工業の社長さんです。大田市の富士重工の前身である中島飛行機で、技術屋をやっていたということです。現在は、東京三洋さんの仕事をしていらっしゃるとの事。又、600社（群馬県で）も加盟している団体で、群馬県中小企業団体中央会の副会長です。ボーイスカウトにご熱心で、今の若い人は、平和ぼけをしている、飯ごうでご飯をたけなくてはこまる、という理論より実践の人です。思うようにやればよいという方です。会長、幹事会の時、韓国の儒教で「親を敬い、先輩を大事にする」ということばを本気になって言っておられた。格式のあるロータリーですと、努力が必要ということでしょう。

公式訪問は今までと同じやり方と思います。委員長の報告を受けてから、コメントするというやり方です。

さて、ロータリーについてということですが、吉田クラブは昭和61年7月に燕ロータークラブをスポンサーとして作られました。ホヤホヤの中でロータリーをどんな風に考えるようになったかということで話をさせていただきます。私が吉田クラブの会長だった時のガバナーは安藤さんでしたが、その安藤ガバナーの方針に「善きが頭につく有情、親睦」というのがありました。「善き友情、善き仲間、善き交遊を持つことは修業のすべてだ」ということがアゴンギょうの中に出てくることだと注釈されていました。自分で機会を作って、自発的に努力しないと長つづきしない。ロータリーは、なごやかななかにも厳粛なものなんだ、少々の気づかいが必要なんだと安藤さんは話しておられました。